# 地震感知及び非常灯機能内臓 LED 照明機器概要



〒163-1030

東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿NパークタワーN30階 PHONE:03-5326-3435 FAX:03-6800-7772 WEB SITE:http://www.systembrain.cc



# 01. 開発背景(世界主要地震発生履歴)

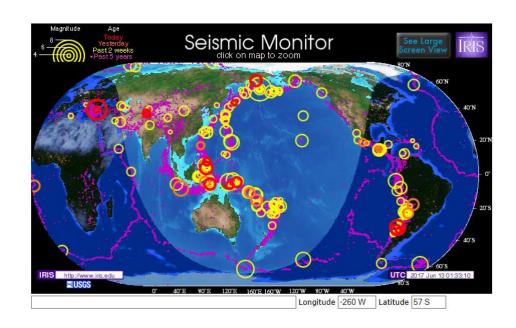
2017年6月1日から13日まで 震度4.0以上 : **559回の地震** 



2017年1月22日 パプアニューギニア 震**度:7.9** 



2017年1月10日 フィリピン 震**度:7.3** 

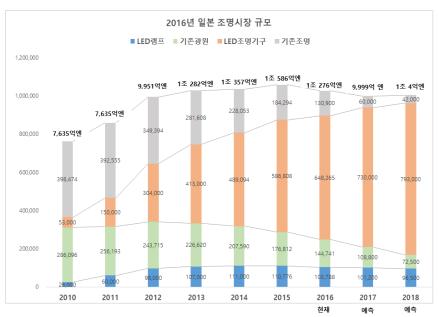


東日本大震災 2011年3月11日 震**度:7.0**  熊本地震 2016年4月16日 震**度:7.0** 

最近、日本の政府の発表によると今後30年以内に関東地方を含む首都圏直下地震、震度7以上 の大地震が起こる確率70%以上であることを発表。

# 01. 開発背景 (日本LED市場規模及び現況)

## ■ 日本LED照明市場現況

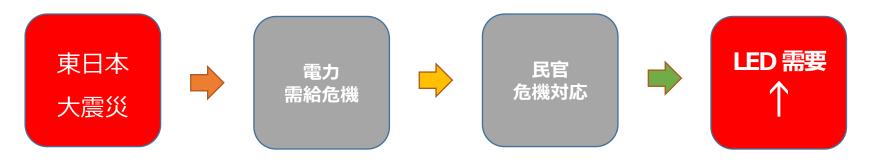


出処: 矢野経済研究所, 2017, 単位:百万円

- > 日本全体の照明市場規模は約1兆276億円/年
  - 63.1%の6,482億円がLED照明機器市場
  - 年平均成長率(CAGR) 51.8%の高成長市場
  - 2010対比、2016年現在約12倍に急成長

## ■ 日本LED照明市場のトレンド

2009年に、2030年までLED 100%代替新成長エネルギー政策樹立



# 02. 開発製品の特徴

### ■ 地震感知及び非常灯機能が内臓されたLED蛍光灯

- ① AC Direct LED Driver IC実現(安定器の代わりに小型化に成功したICチップが役割を果たす。)
- ② 地震感知回路を内蔵され、一般的な振動や揺れには作動なく、地震のみ感知する地震感知回路内蔵成功
- ③ OVP(過電圧保護) / OTP(過度時間露出保護): 過電圧が発生したとしても、製品を保護する保護回路が作動し、 製品の寿命を長期維持できる。
- ④ バッテリー充電及び放電機能が含まれ、停電時に約300分の発光が可能。(単三電池1個)
- 5 統合LED Driver ICにより、別途の電源及び操作がいらない。
- ⑥ 日本国内の非常用製品と比べ、競争力のある価格帯の供給が可能

## ■ 消防用の非常灯とは区別される一般LED照明機能+付加機能付き製品のポジション

① 既存の消防用非常灯の場合、価格が非常に高くて一般の消費者の要望(安全の為)に対応しにくいが、本製品は一般LED照明でありながら特殊な機能(地震感知、警告、充電、非常用)を備えた付加機能付き製品としてのポジションにより差別化



## 03. 製品概要

■ 地震感知及び非常灯機能が内臓されたLED蛍光灯

期待効果

#### 平常時

一般LED蛍光灯として普通に使用



#### 地震発生時

- A. 1分当り30回1)程度点滅し、 地震発生を知らせる。
- B. 電源がOFFの状態でも自動的 に点滅をする。

地震発生を知らせる。

#### 地震による停電時

A. 内臓された充電バッテリーにより、約300分程度2) 30%の明るさで3)点灯

地震による 停電や火災 などが起きっ ても、 退路の確保 が可能

参考) 1),2),3) 上記に定義された機能(回数、時間などはセッティングによって変えられる数値です。

# 04. 核心技術

## 適用された核心技術



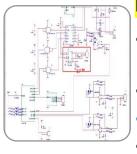
## 半導体設計及びパッケージング技術

- Analog, Digital 回路設計技術
- SIP(System in a Package) based IC 設計技術
- LED 照明エンジン設計技術



## Analog 回路設計及び最適化技術

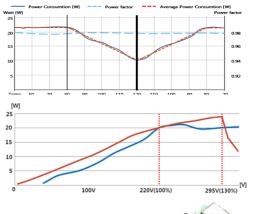
- 安定的なパワー設計お及び高効率設計技術
- Over Voltage Protection (~1,000VAC) 技術
- Customized TR based 技術



### **Digital Application Design技術**

- Embedded System Design Artwork, Firmware,
   Application
- Wireless Communication Design(BLE, WiFi, LoRa)
- 低電力センサーネットワーク技術
- System照明設計技術







# 05. 技術サマリー

■ 適用された技術内容

① AC Direct LED Drive IC技術

- AC/DC SMPSなしにIC一つでAC Powerをドライビングする事ができ、電解コンデンサー不要
- <del>半永久的寿命保証、エネルギー効率性、</del>信頼性、デザインの便利性、価格競争力確保

② Enhanced Over Voltage Handling技術



- 既存の過電圧幅 +140%に比べ、本製品は +200%の幅で拡張
- 過電圧状況においてLEDとドライバーICに損傷を負わせない技術

(過電圧状況回路保護技術)

③ LED Light Engine設計技術



- 精密セラミックSubstrate/COB光源/放熱板設計技術を保有 (小型化及び放熱最適化技術)
- 使用目的に適合した最適化LED Light Engine制作可能

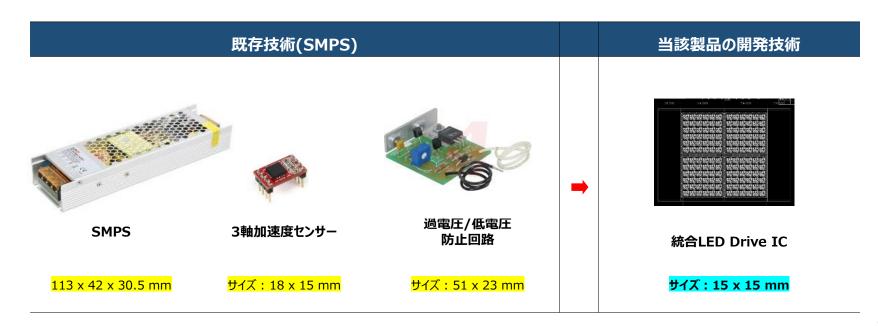
■ 統合AC Direct LED Drive IC開発(小型化)

## 既存技術

照明用LED電気供給のためのSMPS 及び各種回路による小型化が難しい



SMPS/過電圧調節/地震感知回路/充電・放電回路を一つのICで統合開発



■ 小型集積回路、高い汎用性及び価格競争力保有LED Lighting 製品開発

#### 既存技術

別途の非常照明用機器及びLEDモジュル 付加による高い価格、低い汎用性

### 適用技術



統合LED ICを活用し高い汎用性及び価格 競争力を持つLED照明機器開発

## 

■ 過電圧が発生しても回路保護ができる

#### 既存技術

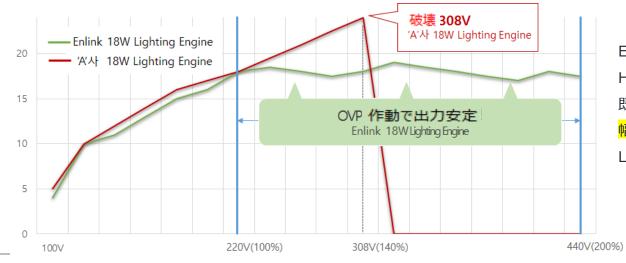
低い過電圧保護幅(140%),地震や不具合が起きた時、発生する電圧不安定さに対応できない

### 適用技術



過電圧の幅、最大200% まで耐える (地震発生時、映像高調波及び加熱、, 中性線の断線などにより発生する電圧不安定 の過電圧に対応可能)

## 既存技術及び当該製品の開発技術比較



Enhanced Over Voltage
Handling技術を通じて
既存140%(308V)以上の<mark>過電圧</mark> 幅200%(440V)でもLED

Lighting Engineが正常的に作動

■ 地震後の停電時、蛍光灯に内臓されたバッテリーによる点灯(非常灯機能:光量調整は自動)

#### 既存技術

非常時に同一光量で作動し、長時間の点灯は 難しい



地震後、光量の調整による長時間の 点灯が可能



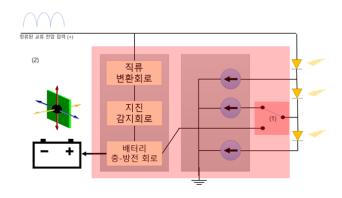
#### 既存技術及び当該開発技術比較

時間及び状況に関係なく、

同一な光量で作動

- ① 地震感知、非常時の作動は、地震発生初期には明るい光量を維持
- ② 一定の時間後は光量を減らしてバッテリーの消耗を抑える
- ③ その後、長時間停電が続く場合は、状況に応じてPulse駆動

## ■ 開発原理



地震感知回路/SMPS/バッテリー充・放電回路統合LED driver IC

- (1) 既存 SMPSを ICに統合
- (2) LED + 地震感知回路 + バッテリー充・放電回路統合

■ 小型集積化(2~3cmの蛍光灯管の中に挿入できるサイズ)

RED BOX: 200 x 70mm



NEW AC直結形LED Driver IC
IC Package Size: 15 x 15mm